

令和6年度 御殿場市生活交通確保計画(案)一覧

【参考】

- ① 記載対象は、行政(国、県、市町)による補助が投入されている系統
- ② 市町を跨ぐ系統については、欠損額、補助額等全体額を記載(市町ごと按分なし)
- ③ 記載内容は、市町の状況に応じて適宜変更する。

国庫補助路線

(単位:千円)

No.	申出 番号	路線名	運行系統			1日当たり運行回数 (現行→計画値) (回)	平均乗車密度 (計画値・現行 比) (人)		運行経費 (計画値)	運賃収入 (計画値)	欠損額 (計画値)	主な利用	備 考
			起点	経過地	終点							改善策	
1	41-2	御殿場線	御殿場駅	裾野駅入口	三島駅	5.0 → 5.0	3.3	-	38,910	25,791	▲ 13,119	通勤・通学・通院・買い物の需要、またJR御殿場線に並行し、各駅間を結ぶ路線として地域住民及びビジネス客による需要がある。 地域に密着したPRを行い、需要の掘り起こし、収支改善を図る。 沿線3市(三島市、裾野市、御殿場市)で協調して、赤字額の一部を補助する。	
2	44-1	駿河小山線	御殿場駅	一色	駿河小山駅	8.1 → 8.1	3.7	-	34,073	17,919	▲ 16,154	朝夕は、小山町内から御殿場駅方面への通学・通勤による生活移動が多い。 日中は、高齢者や主婦層を中心に沿線に存する行政施設やスーパーなどの商業施設への移動が多い。 地域に密着したPRを行い、需要の掘り起こし、収支改善を図る。	
3	60-2	十里木線	御殿場駅	須山	十里木	5.8 → 5.8	2.7	-	39,638	18,447	▲ 21,191	須山地区(十里木含む)、原里地区民による通勤・通学、御殿場駅周辺への通院 買い物、御殿場駅へのアクセスがあり、土休日は観光客の利用もある。 増収対策として、ハイキングやテーマパーク利用など観光利用を取り込む施策を行う。	
4	63-1	河口湖線 (みなし同一系統)	河口湖駅	旭日丘 北富士駐屯地	御殿場駅	9.0 → 9.0	7.4	-	121,796	37,468	▲ 84,328	静岡県東部と山梨県富士五湖地域を結ぶ一次交通としての利用や、御殿場駅周辺と須走地区間の沿線に存する学校(御殿場西高校)・病院等の生活拠点への利用が多く、土休日は観光客の利用もある。 包括的に運行する「河口湖駅～御殿場駅～御殿場プレミアム・アウトレット系統」と共に、利便性(30分間隔運行)をPRし利用を取り込んでいく。	
5	63-2	河口湖線 (主系統)	河口湖駅	旭日丘 忍野八海	御殿場駅	4.0 → 4.0	7.4	-	51,276	89,218	37,942	静岡県東部と山梨県富士五湖地域を結ぶ一次交通としての利用や、御殿場駅周辺と須走地区間の沿線に存する学校(御殿場西高校)・病院等の生活拠点への利用が多く、土休日は観光客の利用もある。 包括的に運行する「河口湖駅～御殿場駅～御殿場プレミアム・アウトレット系統」と共に、利便性(30分間隔運行)をPRし利用を取り込んでいく。	

※ 4、5の運行主体は富士急モビリティと富士急バス、その他の運行主体は富士急モビリティ

市単独補助路線

(単位:千円)

No.	申出 番号	路線名	運行系統			1日当たり運行回数 (現行→計画値)	平均乗車密度 (計画値・現行 比) (人)		運行経費	運賃収入	欠損額	主な利用	備 考
			起点	経過地	終点							改善策	
1	42-5	小山高校線	御殿場駅	仲町	小山高校	1.3 → 1.6	3.4	-	1,355	1,557	202	早朝・夕方の通勤、通学利用(御殿場高校、小山高校生) 御殿場駅における鉄道ダイヤとの接続、学校の始業時間などに配慮し地域へのPRを行う。	
2	44-3	駿河小山線	御殿場駅	仲町	佐野川	0.4 → 0.4	1.5	-	712	205	▲ 507	早朝の通勤、通学利用 通勤時の御殿場駅における鉄道ダイヤとの接続などに配慮しながら利便性向上・収支改善を図る。	
3	46-7	中日向線	御殿場駅	一色	上野	0.7 → 0.7	2.3	-	2,314	1,218	▲ 1,096	朝夕の通勤・通学の利用、日中は高齢者の通院等利用 通勤時の御殿場駅における鉄道ダイヤとの接続などに配慮しながら利便性向上・収支改善を図る。	

No.	申出 番号	路線名	運行系統			1日当たり運行回数 (現行→計画値)	平均乗車密度 (計画値・現行 比) (人)		運行経費	運賃収入	欠損額	主な利用	備 考
			起点	経過地	終点							改善策	
4	47-1	富士霊園線	御殿場駅	わさび平	富士霊園	0.5 → 0.5	1.7	—	2,304	597	▲ 1,707	土休日における御殿場駅周辺への買い物や富士霊園への墓参等による利用 鉄道への接続に配慮し、生活交通や参拝などの利用に対する利便性向上・収支改善を図る。	
5	47-3	富士霊園線	御殿場駅	富士スピードウェイ	富士霊園	0.5 → 0.5	3.5	—	2,490	1,064	▲ 1,426	土休日における御殿場駅周辺への買い物や富士霊園への墓参、スピードウェイ行きの利用 鉄道への接続に配慮し、生活交通や参拝などの利用に対する利便性向上・収支改善を図る。富士スピードウェイ目的客に対しても、利用促進を図る。	
6	51-1	滝ヶ原線	御殿場駅	中畑	青少年交流の家	5.4 → 5.4	4.9	—	12,577	9,853	▲ 2,724	朝夕の通勤通学、高齢者等の通院・買い物等利用、青少年交流の家利用者、滝ヶ原駐屯地関係者の利用 市民交流センター経由便(51-2)と共に幹線モードとして、「市民交流センター」での他系統への乗継利便を高め利用者増を図る。	
7	51-2	滝ヶ原線	御殿場駅	市民交流センター	青少年交流の家	7.0 → 7.0	3.8	—	18,205	14,176	▲ 4,029	朝夕の通勤通学、高齢者等の通院・買い物等利用、青少年交流の家利用者、滝ヶ原駐屯地関係者の利用 市民交流センター経由便(51-3)と共に幹線モードとして、「市民交流センター」での他系統への乗継利便を高め利用者増を図る。	
8	54-1	神場・原里循環線	御殿場駅	神場中、原里支所	御殿場駅	2.1 → 2.1	4.9	—	7,999	4,418	▲ 3,581	朝夕の通勤・通学、高齢者等の通院・買い物、板妻地区内企業への通勤 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
9	54-3	神場・原里循環線	御殿場駅	原里支所、北の原	御殿場駅	0.3 → 0.3	5.9	—	1,098	823	▲ 275	朝の板妻地区内企業への通勤、板妻・原里地区から御殿場駅までの通勤 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
10	54-5	神場・原里循環線	御殿場駅	神場南、原里支所	御殿場駅	1.3 → 1.3	5.0	—	6,404	2,923	▲ 3,481	朝夕の通勤・通学の利用 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
11	57-2	東山循環線	御殿場駅	仲町、二の岡	御殿場駅	0.7 → 0.7	1.9	—	2,267	482	▲ 1,785	高齢者等による御殿場駅周辺への通院や買い物等の利用 東山、深沢、二の岡地域の高齢者の通院・買物など、ニーズ把握に努める。河口湖線の御殿場プレミアム・アウトレット行きと連携した地域PRを行い、利用者増を図る。	
12	57-4	東田中線	御殿場駅	東田中二丁目	御殿場営業所前	0.7 → 0.7	0.6	—	794	599	▲ 195	御殿場駅周辺への通院や買い物等の利用や御殿場線への乗り継ぎ需要 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
13	59-1	印野線	御殿場駅	板妻	印野本村	0.3 → 0.3	3.3	—	958	475	▲ 483	板妻地区企業への通勤者や、板妻・印野地区民の通勤通学帰宅時の利用 原里地区企業への通勤者や、原里・印野地区住民の通勤通学など、沿線のニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
14	59-2	印野線	御殿場駅	中畑	印野本村	1.3 → 1.3	2.8	—	4,033	1,990	▲ 2,043	朝の通勤・通学の利用、駅周辺への高齢者等の買い物・通院等に利用 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。。	

No.	申出 番号	路線名	運行系統			1日当たり運行回数 (現行→計画値) (回)	平均乗車密度 (計画値・現行 比) (人)		運行経費 (計画値)	運賃収入 (計画値)	欠損額 (計画値)	主な利用	備 考
			起点	経過地	終点							改善策	
15	59-6	印野線	御殿場駅	板妻、 富士山樹空の森	印野本村	1.5 → 1.5	2.0	-	4,753	1,377	▲ 3,376	駅周辺での買い物や通院からの帰宅、沿線企業からの帰宅、樹空の森へのアクセス等 幹線(河口湖線、滝ヶ原線)との接続連携策を検討する。収益確保策として、沿線の観光資源(富士山樹空の森)を活かした地域PRを行う。	
16	59-7	印野線	御殿場駅	中畑、 富士山樹空の森	印野本村	1.3 → 1.3	2.7	-	4,455	2,284	▲ 2,171	駅周辺での買い物や通院からの帰宅、樹空の森へのアクセス等 幹線(河口湖線、滝ヶ原線)との接続連携策を検討する。収益確保策として、沿線の観光資源(富士山樹空の森)を活かした地域PRを行う。	
17	60-4	板妻線	御殿場駅	原里支所	駒門屋	1.6 → 1.6	2.7	-	2,760	2,420	▲ 340	朝夕の通勤・通学、高齢者の通院・買い物等 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
18	60-5	板妻線	御殿場駅	原里支所	板妻	1.0 → 1.0	2.7	-	1,513	1,327	▲ 186	朝夕の通勤・通学、高齢者の通院・買い物等 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
19	64-2	チアーズガーデン 循環線	御殿場駅	西高前、チアーズ ガーデン	御殿場駅	0.7 → 0.7	3.1	-	1,916	1,765	▲ 151	朝夕の通勤・通学、高齢者の通院・買い物等 通勤・生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
20	48-1	富士学校線	御殿場駅	仁杉	富士学校	3.8 → 3.6	5.5	-	14,469	10,155	▲ 4,314	朝夕の通勤・通学、高齢者の通院・買い物等 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	
21	62-2	特別支援学校線	御殿場駅	富士岡	特別支援学校	2.0 → 1.3	5.2	-	4,300	3,210	▲ 1,090	沿線住民の買い物利用、沿線の公共施設や病院の利用 通勤、生活利用などのニーズ把握に努め、利便性向上・収支改善を図る。	

※ 運行主体は全て富士急モビリティ

